

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

| | | | | |
|--|--|--------------|-----|------------------|
| 1. 研究課題名 | 膵癌進展におよぼす神経系の関与の解明 | | | |
| 2. 対象患者 | 2007年から2018年の間に、当科において膵癌に対して手術をされた方を対象とします。 | | | |
| 3. 対象となる期間 | 2007年1月1日～2018年12月31日 | | | |
| 4. 実施診療科等 | 弘前大学医学部附属病院 消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 | | | |
| 5. 研究責任者 | 氏名 | 脇屋 太一 | 所属 | 消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 |
| 6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者) | 本研究は弘前大学のみで実施されます | | | |
| 7. 研究の意義 | <p>膵癌の成績向上は全世界の喫緊の課題です。20世紀より、膵臓周囲の神経に膵癌が進んだ患者の術後成績が悪いことが報告されてきました。しかし、その理由の詳細は長く不明でした。</p> <p>近年、動物実験により、癌と神経系が影響しあい癌の進行に関わることが報告されています。これは、その制御が癌の進行を抑制しうることを示唆しています。仮に、膵癌患者においても同様に神経系が癌の進行や術後成績に関わるとすれば、神経系に狙いを定める治療は、膵癌患者の治療成績向上に貢献することが期待されます。したがって、膵癌の進行や術後成績におよぼす神経系の関与を明らかにする意義があります。</p> | | | |
| 8. 研究の目的 | 膵癌術後成績に及ぼす神経系の関与を明らかにすることを本研究の目的とします。 | | | |
| 9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等) | <p>通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。介入を行わず、新たに試料採取は行いません。カルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、術後経過などの情報を使用します。また、手術時に切除した膵臓の病理検査、蛋白解析による情報を使用します。神経浸潤がある人とない人に分けて、前術の情報を比較したり、神経系因子と関連のある因子を同定し、その意義を検討します。</p> | | | |
| 10. 個人情報の保護 | <p>患者さんの名前をふせて(匿名化)、臨床情報を使用します。匿名化するための対応表は入室管理された部屋の鍵のかかるキャビネット内で保護をして講座内に保存されます。患者さんが解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。診療情報の利用について拒否の申し出をされた場合であっても、当科での診療において何ら不利益を受けません。同意は、いつでも理由を問うことなく、自由意思で撤回できます。ただし、拒否の申し出をされた時点で既に学会等で成果を公表している場合、公表済の内容についての修正はできません。</p> | | | |
| 11. 利益相反に関する状況 | <p>本研究は通常の診療範囲内で行われるため、特別な資金源を必要とするものではありません。起こり得る利益相反について特記すべき事項はありません。</p> | | | |
| 12. 連絡先 | 消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 脇屋太一 | | | |
| | 電話 | 0172-39-5079 | FAX | 0172-39-5080 |